

浦安上空通過を回避

～羽田空港新滑走路～

羽田空港の新滑走路が完成すれば、航空機が浦安市の市街地を低空で通過し、騒音などの被害が出ると予測されていた問題で、国土交通省は、滑走路を元の計画よりもずらして設置するなどの対応方法をとることにより、浦安市上空通過を回避するとの修正案を示しました。

異例ともいえる修正にこぎつけたのは、浦安市マンション管理組合など地元住民のみなさんや、市長などの運動の成果だといえます。騒音被害が発生すれば、人体への影響だけでなく、浦安の住宅地、マンションの資産価値にも被害を及ぼす恐れも懸念されました。

このため、そのうら健太郎を含む、自由民主党の選挙区支部長は4月、国交省の幹部を招いた勉強会で、飛行ルートへの反対意見を述べ、再検討するよう、強く要請しました。そして、先日、修正案についての説明を受け、基本的には了承しました。

修正は勝ち取ったものの、今回のケースでは地元への十分な説明がなかったことなど、不満な点も残ります。

今後、そのうら健太郎は、航空機が海上を飛ぶルートが遵守され、騒音被害が出ないように、監視してまいります。みなさまのご協力をお願いします

発行 そのうら健太郎事務所
千葉県市川市八幡2-16-20-203
047-318-1001

Eメール sonoura@au.wakwak.com

ホームページ <http://www.sonoken.org>

(日記を毎日、更新しています)

ご意見、ご要望をお待ちしております